

この本の編集をした、芸術教育研究所の人たちは、多田信作君をはじめ、みんな新しい芸術教育に、たくましい情熱を燃やしている若々しい人たちです。

幼稚園や、保育園の音楽や絵の教育についても、新しい角度から、どうしたら、誰にでもできて、しかも楽しい保育のやり方はないものかなどと日頃熱心に研究しています。

この「音楽リズム12ヶ月」も、そのような立場から作られたものでしょう。

はじめにかいてある、「この本を利用する方々へ」というところに、こんなことが書いてあります。

「音楽だけはダメ、わたしの分もひきうけてね。」こんな弱音をはいちゃあいけません。この本は、あなたを音楽に強くするためにきつとお役に立つでしょう。

今の幼児の音楽はつかれています。そして、きらわれています。それから迷っています。幼児の音楽は遊びたいのです。何かプログラムがほしいのです。だからこのあそびを発展させるために、五つの目やすをたててみました。身体表現

られ各月、三、四曲ずつぐらいのつています。早速具体的な指導ができるようにねらい・展開・具体例が、まんがや写真入りでできているというスタイルです。みんな、こしらえた打楽器などもおもしろい創意で、あきかんの、大だいこ

やあき箱に紙をはって小さいこを作ったり、竹ばしをあんだカスタや、紙袋に小石を入れて作ったマラカスもあるというぐあいです。とにかく新鮮で、楽しそう、わかりやすい、しかも、よく内容の構成も整ったよい本だと思います。

「新しい幼児の

音楽リズム12ヶ月」

林 健 造

幼稚園や保育園の音楽リズムの指導にきつとよい相談相手になってくれる本でしょう。

発行所 黎明書房 六五〇円

あそび・歌唱あそび・器楽あそび・鑑賞・総合あそび、といったことがやさしく、わかりよく書かれていて思わずフムフムとうなずきたくくなります。内容は各月のうたが、春夏秋冬にわけ